

新規日程決定

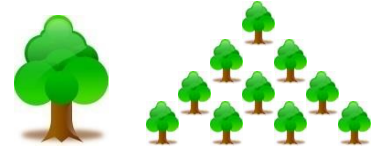
2017 年度日本経営品質賞アセスメント基準 準拠

アセスメント実践トレーニングコース

審査能力とセルフアセスメント実践能力強化のために

このような方にお勧めです。

- ☑これまでの審査・アセスメントスキルをレベルアップしたい。
- ☑実在企業・経営者を対象にアセスメントの実践経験を積みたい。
- ☑実在企業の経営者を対象とした質疑応答やフィードバックの経験を積みたい。
- ☑組織全体に対するフィードバック（アセスメント総括）作成の経験を積みたい。
- ☑日本経営品質賞審査員に初めて応募する。



☞本コースご受講後、2018 年度日本経営品質賞審査員にご応募頂いた場合は、原則として賞の審査をご担当いただきます。

☞本コースは、アセスメント実践能力を磨き、日本経営品質賞審査リーダーを経て、講師・指導者をめざされる方のための登竜門となるコースです。

第3期 事例企業：サービス業 （会場：埼玉県所沢市）最寄り駅：西武線「所沢駅」

1 日目 1 月 23 日(火) 10:00-18:30 2 日目 1 月 24 日(水) 9:30-17:30

3 日目 2 月 27 日(火) 10:30-18:30 4 日目 2 月 28 日(水) 9:30-17:30

※宿泊が必要な場合は各自でご手配ください（費用は個人負担）。

※「所沢駅」から事例企業まではタクシー移動です。

第4期 事例企業：製造業 （会場：東京都港区）最寄り駅：JR「田町駅」地下鉄「三田駅」

1 日目 2 月 6 日(火) 10:00-18:30 2 日目 2 月 7 日(水) 9:30-17:30

3 日目 3 月 15 日(木) 10:00-18:30 4 日目 3 月 16 日(金) 9:30-17:30

※宿泊ご希望の場合、各自でご手配下さい（費用は個人負担）。

※田町駅から事例企業までは徒歩圏内です。

- 対象
- ①日本経営品質賞審査員 新規応募希望者
 - ②同 応募経験者・審査経験者（リーダー、メンバー、インターン）
 - ③実践的アセスメント能力の向上をめざす認定セルフアセッサー

定員 第3期・第4期 各 12名 最少催行人数 4名

費用 経営品質協議会会員 80,000 円（税別） 非会員 96,000 円（税別）

※費用に食費・旅費は含まれません。

※2018 年度日本経営品質賞審査員応募者には会員価格が適用されます。応募予定である旨をお知らせ下さい。

申込 WEB よりお申し込みください。 jqac.com

※お申込受付は定員に達し次第締め切ります。期をまたいでの受講・部分のご受講はできません。

※事前課題をお送りしますので、開催 1 か月前以降の日程変更はできません。

※お申込みにあたっては、機密原則遵守誓約書に御署名頂きます。

※キャンセル料 開催 1 か月前から 4 営業日前まで=研修費用の 30%/前日まで=50%/当日=全額

共催 日本経営品質賞委員会 経営品質協議会

カリキュラム概要

【事前課題】 事例企業の**組織プロフィール**を読み、戦略分析・アセスメント計画と質問項目を検討する。

【1日目】		【2日目】	
10:00	オリエンテーション 「組織プロフィール」 ■質問項目合議 ■質疑（事例企業代表者が回答） ■戦略分析のチーム合議 ■戦略分析の結果発表・意見交換（事例企業幹部も出席） 「顧客・市場の理解」 ■情報収集（事例企業幹部によるプレゼンテーション） ■評価の視点・質問項目の合議 ■質疑（事例企業幹部が回答）	9:30	「顧客・市場の理解」 （続き） ■アセスメント合議 ■アセスメント結果の発表・意見交換（事例企業幹部も出席） 「価値創造プロセス」 ■情報収集（事例企業幹部によるプレゼンテーション） ■評価の視点・質問項目の合議 ■質疑（事例企業幹部が応答） ■アセスメント合議
18:30	終了	17:30	終了

【3日目】		【4日目】	
10:00	「価値創造プロセス」 （続き） アセスメント結果の発表・意見交換（事例企業幹部も出席） 「組織能力」 ■情報収集（事例企業幹部によるプレゼンテーション） ■評価の視点・質問項目の合議 ■質疑（事例企業幹部が回答） ■アセスメント合議 ■アセスメント結果の発表・意見交換（事例企業幹部も出席）	9:30	「リーダーシップ」「事業成果」 ■情報収集（事例企業幹部によるプレゼンテーション） ■評価の視点・質問項目の合議 ■質疑（事例企業幹部が回答） ■アセスメント合議 アセスメント総括 ■アセスメント合議 ■アセスメント総括発表・意見交換（事例企業幹部も出席）
18:30	終了	17:30	終了

【成果物】 **「戦略分析」「アセスメント総括」**

カテゴリー別アセスメント：「顧客・市場の理解」「価値創造プロセス」「組織能力」「リーダーシップ」

【受入組織経営者の声】

「受賞のためにやっているのではなく、ワクワクするためにやっている。どうしたらAAーになれるのか。地域賞申請の際には、それがもやもやしていたが、今回指摘された強みが、そのヒントになると感じた。」

「今やっていることの中には、社員が話し合って明確に意味づけしていないものもある。皆さんの討議を聞いて、よい刺激になった。」

【参加者の声】

◆審査の相手先が眼前にいてそこで色々な質問等、実際にやりとりできると色々な気づきがあります。実際の審査では口にしづらいと思われるポイントもやり取りできました。また、審査のポイントの一つである、「申請組織が考えている戦略を要約するのではなく、組織プロフィールを熟読・分析して、成功のストーリーを描く」の意味が、良く分かりました。

◆今回は、口頭での説明に対しての総括だったので、緻密に書くというより、独自の考え方で明文化されていない、リーダーシップとフレキシビリティに焦点をあて、かつ、社員に必要な能力（技術＋これらの考え方）を全面に押し出して作成しました。また、幹部と直接お会いすることによって、文章にしにくいことを聞き出すことができました。質疑や意見交換を重ねると、受入組織幹部も気づいていない組織で重視している考え方にたどり着くことができたのは対話形式のアセスメントならではの考えです。

◆受入組織の皆様のおかげで、今年初の審査を経験していますが、なんとかやっていけそうな手ごたえを感じています。このような機会をいただいたことに感謝いたします。